

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月4日		記入者	町田信明	連絡先	5213
平成18年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
平成19年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
事務事業名	教育委員会(生涯学習部)職場研修事業					
予算上の事務事業名	教育委員会(生涯学習部)職場研修費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 相模原市職員研修規程						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼			5 事業開始年度	平成5年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)	
生涯学習部に新たに配属された職員に対して生涯学習についての基礎的な教養を養う機会を与え、職員の資質向上を図る。					生涯学習部に新たに配属された職員	
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
研修名称	平成18年度生涯学習部新任研修					
開催日	平成18年4月26日 (水)					
研修内容	「平成18年度生涯学習部の施策概要について」、「生涯学習部の施設について」 「市民と行政のパートナーシップ ～文化財調査・普及員事業～」					
講師	市職員					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
市各部で同様の研修を実施している。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	68	40	37	37	37	
事業コスト合計	68	40	37	37	37	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	教育委員会 (生涯学習部) 職場研修事業			対象名称 と単位	受講者 (人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	68	40	37	37	37	
対象数	20	14	13	15	15	
単位あたり経費(円)	3,400	2,857	2,846	2,467	2,467	
前年度比		0.84	1.00	0.87	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの						

指標名と単位	出席率 (%)	指標式と指標の説明	出席者数÷対象者×100 対象者に対して実際に受講した人数を表わす。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	90.9	66.7	76.5		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度 (%)	90.9	66.7	76.5		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	受講者の研修評価 (点)	指標式と指標の説明	各評価点×人数÷参加人数 受講者にカリキュラム、ニーズ、講師及び満足度内容について5段階による評価をしてもらい、その平均をとる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	4.09	4.16	3.56		
目標	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
目標達成度 (%)	102.25	104.00	89.00		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		生涯学習を取り巻く環境の変化やこれらを踏まえた課題への対応のためには、職員の資質の向上は不可欠である。 事業費については、市職員による講師で対応することによりコストを低く抑えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
的確な講義内容の設定及び受講者へのわかりやすい説明を行なう必要がある。			的確な講義内容の設定が必要である。		
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			